

# 教育・保育の量の見込みの 状況等について(案)

こども未来部 保育・幼稚園課  
平成27年9月17日

# 園児の受け入れ状況

『長野市子ども・子育て支援事業計画』では、待機児童がゼロの状況が続いてはいるものの、育児休業満了時が年度途中であっても希望者が円滑に利用できる提供体制を確保していく必要があるとしています。

長野市の平成26年度の受入状況を見ますと、下記のとおり、私立保育所等のご協力による定員の弾力運用(※1)により定員以上の園児の受け入れを実施し、2号認定・3号認定とも待機児童がゼロの状態となっています。

また、平成27年度の受入状況は、利用定員の増と園児数の減により充足率は減少しています。

平成26年4月1日現在の充足率

|       | 利用定員  | 受入園児数 | 充足率    |
|-------|-------|-------|--------|
| 私立保育園 | 5,065 | 5,218 | 103.0% |
| 公立保育園 | 3,175 | 2,784 | 87.7%  |
| 合計    | 8,240 | 8,002 | 97.1%  |

平成27年3月1日現在の充足率

|       | 利用定員  | 受入園児数 | 充足率    |
|-------|-------|-------|--------|
| 私立保育園 | 5,065 | 5,652 | 111.6% |
| 公立保育園 | 3,175 | 2,897 | 91.2%  |
| 合計    | 8,240 | 8,549 | 103.8% |

平成27年4月1日現在の充足率

|       | 利用定員  | 受入園児数 | 充足率   |
|-------|-------|-------|-------|
| 私立保育園 | 5,150 | 5,143 | 99.9% |
| 公立保育園 | 3,175 | 2,683 | 83.3% |
| 合計    | 8,325 | 7,826 | 94.0% |

年度途中の希望者が昨年度と同じ水準であると予想すると、平成27年度も受け入れ可能

※1 児童福祉施設最低基準を満たす範囲内であれば、定員を超えての受け入れができる措置

# 保育需要(量の見込み)の減少

現在、私立保育園のご協力をいただきながら、定員の弾力運用により受け入れを実施していますが、利用定員と受入数の均衡をとる場合には、利用定員を拡大する必要があります。

利用定員の拡大の方法には、既存保育所等の利用定員の増、保育所等の新規認可が考えられます。しかし、『長野市子ども・子育て支援事業計画』では今後の「保育需要(量の見込み)」は減少傾向にあり、保育所等の新規認可は定員の過剰につながる恐れもあります。

## 長野市全域の保育需要(量の見込み)

【単位:人】

|                 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2号認定の保育需要       | 5,139  | 5,033  | 4,931  | 4,785  | 4,663  |
| 3号認定(0歳)の保育需要   | 564    | 547    | 535    | 521    | 507    |
| 3号認定(1・2歳)の保育需要 | 2,401  | 2,333  | 2,272  | 2,210  | 2,152  |

長野市子ども・子育て支援事業計画から抜粋

# 主な提供区域の状況

『長野市子ども・子育て支援事業計画』により、3歳未満児の利用定員(確保の内容)が足りないといわれている主な提供区域における平成27年度から平成31年度の3歳未満児の保育需要(量の見込み)は下記のとおりです。

計画期間中の保育の需要(量の見込み)は減少することが予想されていますので、平成27年度の受入数が確保できる場合、引き続き保育需要(量の見込み)に対する受け入れは可能であると考えます。

## 3号認定(0歳)の保育需要(量の見込み)

②提供区域(第三、古牧、三輪、吉田、柳原、大豆島、朝陽)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 160 | 154 | 149 | 145 | 141 |

④提供区域(古里、若槻、浅川、長沼)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 79  | 76  | 74  | 72  | 70  |

⑤提供区域(篠ノ井、川中島、更北、信更、大岡)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 189 | 138 | 181 | 178 | 174 |

## 3号認定(1・2歳)の保育需要(量の見込み)

②提供区域(第三、古牧、三輪、吉田、柳原、大豆島、朝陽)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 735 | 709 | 685 | 662 | 641 |

④提供区域(古里、若槻、浅川、長沼)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 272 | 262 | 253 | 245 | 237 |

⑤提供区域(篠ノ井、川中島、更北、信更、大岡)

|             | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保育需要(量の見込み) | 729 | 719 | 712 | 702 | 691 |

# 今後の提供体制の確保について

長野市子ども・子育て支援事業計画から抜粋

平成26年9月の第4回児童福祉専門分科会において提供体制の確保に関してご決定いただいた内容を踏まえ、今後の提供体制の確保については、保育所等の新規認可による定員増ではなく、現在実施している定員の弾力運用を引き続き実施し、必要であれば増設を伴わない既存保育所等の定員増を促すことにより、待機児童ゼロの状態を維持すると共に、将来的な私立保育所等の安定的な運営を図っていきたいと考えます。